

# 立会の風

（校長通信）No.11 校長 滝淵 正史

## 運動会のご参観ありがとうございました

前日の暴風雨もすっかり治まり、運動会を予定通りに実施することができました。コロナウイルス感染防止の観点から、例年のような運動会ではなく、学年ごとの実施となり、参観人数を制限させていただいたり、学年ごとに参観を入れ替わっていただいたりするなど、大変ご迷惑をおかけしま

したが、皆様にご理解ご協力いただき、とてもスムーズに運営できましたこと、書面をお借りいたしまして改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

何と言っても子どもたちにとって、保護者の皆さんに見てもらうことは、大きな励みになります。コロナ禍の影響から、今年度に入ってから、授業参観等が全くできていない状況が続いておりましたので、本当に久しぶりの参観ということになりました。写真は1年生の様子です。どの学年も、予定の入場時刻よりもずっと速いタイミングから、とても多くの保護者のみなさまにお並びいただき、本番では校庭のトラックを取り囲むほどご参観いただくことができました。子どもたちの表情を見てみると、やはり練習の時とは違い、「見られている」ことをとても意識していましたし、程よい緊張感も感じることができました。特に、表現種目は、「みんなと動きをそろえて、大きな作品としての完成度を見てもらいたい」という思いがありますので、たくさんの保護者のみなさまに見ていただけたことは、本当にありがたいことでした。



学校から、運動会に関するアンケートのお願いをさせていただきました。コロナウイルス対応の関係から、例年とは異なる形式でやる2回目の運動会でした。運動会本来の目的・ねらいを掘り下げて考えると、学校としては、どのような形がよいのか、正直なところ、まだ手探りの部分もあります。お寄せいただいたアンケートにお書きいただいた通りになるものではありませんが、当日ご覧いただいたり、それまでの練習の中で、お子さんの様子から保護者のみなさんがお感じになったりしたことなど、お声をお寄せいただければありがたいと考えています。お手数をおかけしますがよろしくお願いたします。

昨日、児童相互の鑑賞日として、一つ上の学年の表現発表を見学しました（1年生の姿は6年生が見守りました）。子ども同士で見合う場面も、学習の意義としては大きいなど、子どもたちの姿を見て感じました。